

行政視察報告書

令和7年5月23日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 村山 さおり

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 福井市・川越市 行政視察
2. 視察期間 令和7年5月20日(火)～5月21日(水)
3. 視察場所及び目的
 - ① 福井県福井市 ・ 小学校と公民館の複合化について
 - ② 埼玉県川越市 ・ 観光振興について
4. 調査内容感想等

・視察の目的

福井市・・・老朽化と耐震性の問題があり、建て替えや移転の必要性があった公民館を老朽化と児童数の減少により余裕教室が生じていた小学校内に移転した複合施設の効果や課題を学ぶため。

川越市・・・都心から近く、『小江戸』と呼ばれている川越市が観光客のリピート率や宿泊、買い物価格をあげるためにどのような施策を行っておられるかを学ぶため。

・視察の内容

福井市・・・実際に順化小学校と公民館が入っている施設を見学させていただいた。小学校、公民館ともに部局が同じということもあり、庁内での調整はスムーズに進んだそう。学校関係者、保護者、地域住民に対しては何度も説明会を開催され、複合化ありきではないかという指摘にもさまざまな手法を示し、検討を行い合意に至った。

学校側からは不審者などの防犯面での不安な声が出たが、こうみんかんの出入りに防犯カメラを設置、事務所から見えない出入り口はインターホンによる確認電子錠での開閉。公民館と学校との往来には仕切り扉の開錠管理。

公民館側からの現状より狭くならないかとの声には、20㎡ほど減るが、会議室や調理室の共用部分によりカバー。

音楽室や調理室等、利用頻度が多くない施設を共用とすることで、維持管理がしやすくなっていた。また、児童と地域の人との交流としては小学校の書道の授業に地域の人が入っておられるとのことで、地域の人が学校に行くのは少しハードルが高いようで、時間をかけて交流を増やしていきたいと言われていた。公民館の館長が順化小学校で校長をされていたのも、地域と学校の繋ぎ役として適任ではないかと感じた。

川越市・・・観光客の交通手段は鉄道利用者が50%、自家用車は40%。日帰り客が91.6%、宿泊客が8.4%。都心から近いことで多くの人を訪れるが、宿泊につながらないという側面もあった。コロナ渦以前の観光客数に戻りつつあるが、外国人観光客が大幅に増えていることで課題もある。オーバーツーリズム対策として、昨年度は当初予算、補正予算合わせて15,000千円が計上されていた。

観光客の受け入れと住民の生活の質の確保を目的としてスマートゴミ箱の設置や、道路のはみ出しや無理な横断を防止するためのマナー啓発動画の作成、観光客分散化のためのイベントの企画等。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

福井市・・・当市ではまちづくりセンターは整備されたが、今後さまざまな施設が老朽化や統廃合で空くことが予想される。さまざまな手法を想定して、新しく

ハコモノを作る以外の手段を検討していく必要があると考える。
その中で、学校という人々の中心の施設が活用された実例は今後の参考になる
と考える。

福井市・・・毎年10月には約380年続く川越まつりが開催され、昨年74万人
もの来場者が訪れた。山車が出て国指定重要無形文化財に指定されている。毎
月8. 18. 28日は川越きもの日としていて、安価で着物のレンタルがで
きてさまざまな優待サービスが受けられるそう。着物屋同士が協力して盛り上
げておられるそうなので、当市でも民主導でできることがあるのではと感じた。
川越市の調査ではリピート率が高く75%。4回以上のリピーターが40%と
のことだった。『また来たい』と思ってもらえる仕掛けが必要だと感じた。